

# 六日小だより

創立 97周年  
令和4年 4月 28日  
荒川区立第六日暮里小学校  
令和4年度 第2号  
発行者 島埜 秀男



## 人権感覚を磨く

～言語環境の大切さ～

校長 島埜 秀男

日中は、日差しが強く汗ばむ季節となりました。新学期がスタートし子供たちも新たな生活に慣れ目標をもって力を発揮しています。先日、土曜授業で昨年度実施できなかった4年生の2分の1成人式を保護者参観の中行うことができました。自分たちの成長と感謝の気持ちが伝わる温かい会となりました。また、1年生を迎える会を1年生の保護者の参観で行いました。ちょっぴり緊張した1年生でしたが、とても立派な態度でした。これからの成長がとても楽しみです。

また、その後の引き取り訓練では、ご多用の中ご来校いただきありがとうございました。災害が起きた時に迅速な対応ができるため新年度できるだけ早い時期に実施をしております。ご協力ありがとうございました。

さて、六日小では、他の学校にない特色ある取組の一つに毎月の「言語目標」の設定があります。これは、人権感覚を磨き、よりよい集団形成のための本校ならではのアプローチです。



### 言語目標を意識して取り組む六日小

学校生活は、多くの児童が集団生活をしている場です。この集団の中で子供たちは、様々な関わり合いの中で、学習をしたり、運動をしたりしています。お互いの考えや思いを伝える手段として「言語」は、大変重要な役割を果たしています。

月	言語目標
4月	友だちを「〇〇さん」とよぼう
5月	みんなに聞こえるように発表しよう
6月	最後までていねいに話そう
7月	友だちのよいところを言葉で伝えよう
9月	聞き手を意識して話をしよう
10月	みんなに聞こえるように発表しよう
11月	「ありがとう」「ごめんなさい」を進んで言おう
12月	最後までていねいに話そう
1月	目上の人にていねいに話そう
2月	相手に伝わるようにあいさつをしよう
3月	「ありがとう」の気持ちを言葉で伝えよう

円滑な人間関係を築くためには、相手を尊重して話を聞いたり、話をしたりできる力を身に付けることが必要です。乱暴な言葉が日常的に使われている集団は、けんかやトラブルが多く、言語環境が穏やかな集団では、自己肯定感が高く、学力向上したと言われています。言語環境の向上によって子供たちに大き

な影響を与えます。しかし、学校だけでは向上することはできません。子供たちの豊かな未来のためにご家庭、地域の皆様のご協力をお願いします。



< 5月の行事予定 >

日	曜	行 事	日	曜	行 事
2	月	全校朝会・全校遠足	23	月	全校朝会・5時間授業（2～6年生）
6	金	委員会（6校時）・全校遠足予備日	24	火	運動会全体練習（1校時）・運動会係活動（6校時）
9	月	全校朝会・さわチャレ始	25	水	内科検診（全）
10	火	開校記念日	26	木	運動会（児童鑑賞日）
11	水	安全指導・尿検査（二次）	27	金	運動会前日準備（6校時）
12	木	オーケストラ鑑賞教室（6年生）	28	土	運動会（保護者鑑賞日）
13	金	さわチャレ終	29	日	運動会予備日
16	月	全校朝会			※29日（日）に運動会を実施した
17	火	避難訓練・クラブ①			場合6月1日（水）を振替休業日と
19	木	耳鼻科検診（全）			します。
20	金	運動会全体練習（1校時）・運動会係活動（6校時）	30	月	振替休業日
			31	火	全校朝会



◎5月の目標 生活目標 学校のきまりを守ろう 言語目標 みんなに聞こえるように発表しよう

